



☎ 591-7376
akito.n@m3.
dion.ne.jp

市議会議員 中野あきと事務所ニュース

みどりと清流

2003年8月発行 第21号

日本共産党 中野あきと事務所
日野市南平7-6-72 ☎599-3350
〒191-0041 発行責任者 小山敏正

しんぶん 赤旗

日刊紙 一か月 2900 円
日曜版 一か月 800 円
お申し込みは
南多摩事務所
☎582-0505
又は、中野事務所へ

生活・法律相談など
お気軽にお立ち寄り下さい

高幡
南平駅
中野あきと事務所

ヤマダ
デンキ

北野街道



朝の駅頭宣伝・南平駅

(左)中野あきと市議、(右)田川ゆたか予定候補

「秋には総選挙」で動き出した政界。日本共産党東京二十一区予定候補の田川ゆたかさんは、地域の中へ、若者の中へと連日の活動を展開しています。

田川さんは、中野あきと市議と同じ三十四才。若さと行動力に期待が寄せられています。

くらし・平和を守り21世紀をにろう

若者・フリーターに働きがいのある仕事と職場を

衆議院東京21区予定候補
日野市・立川市・昭島市

田川ゆたか

プロフィール

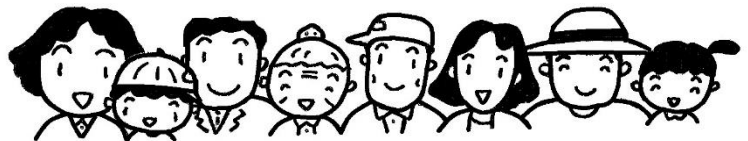
1968年広島県に生まれる

アメリカフロリダの高校・広島大附属高校卒

東京大学法学部卒、党東京都委員会青年学生部長

民青同盟東京都委員長などを歴任

現在、日本共産党東京都委員会政策委員



また下水道工事で談合？

新都市建設公社が異例の入札やり直し

新都市建設公社は、6月30日に予定していた日野市内の下水道工事の指名競争入札で、新聞社に事前に「談合で落札業者が決まっている」という情報が寄せられたことから、二件の入札を中止することを決定しました。

公社は、改めて入札参加希望の業者を募り、7月28日と8月18日に入札をやり直すということです。

匿名の談合情報で、予定していた入札をやり直すことは、極めて異例のことです。公社によれば

「指名業者から事情聴取を行い、全業者から『談合はしていない』という誓約書が出された」

「しかし最近、事前の談合情報がたびたび寄せられ、情報通りの業者が落札するという事態が続いており今回は大事をとった」と説明しています。

新都市建設公社は東京都の外郭団体で、主として多摩地域の市町村の委託を受けた下水道や区画整理などの事業行なっています。

2001年12月には公正取引委員会が、公社発注の下水道工事で大手ゼネコンが談合をくり返しているとして、課徴金(罰金)の納付命令を出したばかりです。

草の根から

8月2日、3日、京都で行われた全国保育合同研究会に参加してきました。昨年に続き二回目の参加でしたが、保育士、父母、研究者など、一万人あまり集まりました。

保育をめぐる政治情勢から保育実践まで、いろんなテーマで学ぶことができ、上が二才、下が九か月の二人の子どもを持つ親としても大変勉強になりました。

日野市でも、公立保育園の民営化、認証保育所の参入、「弾力化」による詰め込み保育など、保育園めぐってさまざまな動きがあり、問題点も出てきています。全国集会で学んだ力、もらった元気で今後の運動にがんばりたいと思っています。

中野あきと



『小学校統廃合方針』の白紙撤回を決めた

立川市教育委員会を視察して・〈市議会議員〉中野あきと

8月6日、立川市の教育委員会を訪れ、小学校統廃合方針の白紙撤回を決定した理由とその経過について伺ってきました。

立川市では、統廃合の実施方針を決めたのがH12年。以降、住民説明会を20回以上にわたって開き、その後、市教委と住民の間で「若葉町地域協議会」を設置して、約二年間にわたって話し合いが行なわれてきました。

その結論として「統合は必要なし」となり、市教委もこれを尊重したという経過でした。その詳細については別の機会にご紹介させていただきます。

市教委の方は「私たちとしても反省すべきところがあった」「この議論がきっかけで、子どもや教育のことについて、お互いに話せるようになったことは、大きな財産です」と、率直に語っておられました。

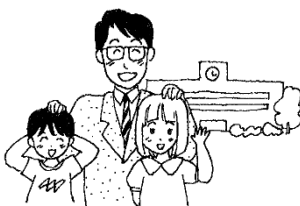
若葉とけやき台小／第九と第四中 統合方針を撤回

立川市教委

7月11日『読売』記事より

立川市教委は十日、市立若葉小（若葉町）とけやき台小（同）の統合と、市立第九中（同）と第四中（幸町）の統合のいずれも取りやめることを決めた。周辺地域で大規模集

で住民向けの説明会を開く。



『しんぶん赤旗』の無人販売スタンドが、中野事務所の前にお目見えしました。

日曜大工が得意の南平支部のMさんが腕をふるいました。道行く人への宣伝に一役かっています。

衆議院選挙で独自候補を擁立する経過は？

ご質問に答えて

今度の衆議院選挙で、なぜ独自候補を立てるに至ったかというご質問が寄せられましたのでお答します。前回の衆議院補選で日本共産党は、党公認の候補者を立てないで、無所属の川田悦子さんを「応援」しました。まずその経過を説明させていただきます。

前回の衆議院補選では、日本共産党が公認候補の発表を行なった後で、川田さんから党に「推薦してほしい」という申し入れがありました。日本共産党は、①反自民の立場を貫くこと②反日本共産党の立場をとらないこと③日本共産党の推薦を公表することの三条件が守られるなら、すでに発表している党公認の候補者を降ろし、川田さんを推薦するという返事をし、川田さんもこれを了解しました。

ところが川田さんは立候補の記者会見で、日本共産党の推薦を表明せず「どの党の推薦も受けない」「推薦を申し入れたこともない」と表明しました。これは明確な信義違反でした。しかし、党としては独自候補を立てないで川田さんを「応援」し、今後の共同の発展に期待しました。

選挙で川田さんは当選しましたが、その後の活動の中で残念ながら共同の関係を発展させることができませんでした。衆議院選挙は日本の進路について政党が政策を示し、国民の審判を仰ぐ選挙です。日本共産党としては、党公認候補をたてて、党の政策を訴える選挙にすることが責任ある立場だと考えました。



短信

八月一日の広報『ひの』で馬場市長が街の景観について述べています。石造りの城壁に囲まれたヨーロッパの街、日本のどこにでもあった自然とともにある住まい。高さのこと、屋根や壁の色合いデザイン等々。今の都市のわい雑さを嘆き「人のふり見て我がふり直せ」と言っています。市の『まちづくり指導要綱』などどこ吹く風の豊田南のノッポビル。公有地を売り払っての高層地区の高層マンションの住環境破壊。人のふりを見るまでもないことです。日本への「侵攻の可能性は低い」としながら、これからは「米軍支援が重要」だとする〇三年度版「防衛白書」。首相がいった「備えあれば憂いなし」もそんな「憂い」は低く、アメリカの先制攻撃を支援するのが役割だというのは、国を守る「自衛隊」という名称にも疑問が。隊員の人たちも、そんなことを承知で入隊したのではないでしょう。▽「秋には総選挙」で動き出した政界。暑い夏、どれだけ汗を流すのが大切。

平和を誓う月 八月。